

小平・生活者ネットワーク ニュース No.115

2013年3月5日
発行責任者 / 打木香澄

〒187-0045 小平市学園西
2-15-2 CB 一橋学園
TEL&FAX 042-342-4494
E-mail kodaira@seikatsusha.net
http://kodaira.seikatsusha.net/



小平・生活者ネットワークは、市民参加、市民自治、情報公開を基本にしたまちづくりを行っています。また、環境・子ども・福祉・男女平等の部会を設置し、それぞれが学習会や調査活動等を組みたてて活動しています。今回は、各部会からの報告です。

●環境部会



佐藤悦子

設立当初からごみ減量の必要性を発信し、特に生ごみは資源と考え、生ごみのリサイクルを提案してきました。小平市では生ごみを乾燥させた一次処理物の回収や生ごみのバケツ回収を行っています。どちらも自宅でリサイクルできない人が簡単に参加できるリサイクルのしくみです。このしくみを完全な市内循環システムにするために、堆肥を市内の農家で活用する可能性を探っていきます。

また、エネルギーシフトや地域でエネルギーをつくることへの提案もしています。昨年5月に千葉大学の倉坂秀史さんを講師に「地域から脱原発 小平でつくる地域エネルギー」の学習会を開催しました。大きな川のない小平に適したエネルギーは、太陽光発電であるとのアドバイスをいただきました。3月初め、市内で太陽光パネルを使った市民発電所が開始しました。市民の活動を行政が支える、時にはいっしょに

進めることはとても大事なことです。

2年前の福島第一原発事故以来放射能汚染の問題は重く、特に子育て

中の親にとっては気にせざるを得ません。私たちは、せめて市内の公園の状況を把握したいと考え、測定器を購入し市民の協力も得ながら測定を続けています。測定結果はホームページで公開しています。

身近な環境問題は様々あります。緑地、ごみ、エネルギー、放射能、電磁波などフィールドワークや学習会を企画しながら今後も提案を続けていきます。



環境部会 佐藤悦子

●子ども部会



岩本ひろ子

マスコミの報道や学校でのいじめへの対応について、子どもの権利という視点が欠けています。子育て中の保護者や子どもに関わる活動をしている人たちに直接発信していきたいとおもいから1月20日に「子どもフォーラム」を実施しました。私たちおとなとして何ができるのかを参加者全員で考える場をつくれたことは大変有意義でした。

●男女平等部会



日向みさ子

昨年度までは女性部会として活動を続けてきました。今年度から男女平等部会に名前を変えることになりました。働くことや介護、子育てはいまや男性にとってもさまざまな課題を生み出し、それを解決しない

と誰もがハッピーな地域社会はつくりたいと考えたからです。女性と男性がまったく何でも同じであるべき！ということではなく、誰もが自分らしくいきいきと楽しく生きることをめざして、生活の中の課題解決のための学びをしています。

●福祉部会



平野ひろみ

福祉のテーマは高齢者・障がい者だけでなく子どもや女性にも関わることで多岐にわたります。福祉施設の見学や学習会など行いながら、日々感じていることを出し合い、いっしょに話し合っていきたいと思っています。

それぞれの部会では会員を問わず市民のみなさんといっしょに活動していきたいと考えています。ぜひ、いっしょに活動しませんか？



左から
市議会議員/岩本ひろ子、市議会議員/平野ひろみ
佐藤悦子、市議会議員/日向みさ子



生活者ネットワーク
3つのルール
●議員は交代制
(ローテーション)
●議員報酬は市民の
政治活動資金
●選挙はカンパと
ボランティアで

